

プロも日経新聞を読んでいる



皆が読んでいる 重要な情報

株式マーケットの情報収集で大切なのは、一般的な情報をキャッチすることです。「情報」というと、自分しか知らない情報に価値があるように思えますが、株式投資にはあまり当てはまりません。

むしろ、もつとも大切な情報源（材料といえます）は、プロの投資家のみならず、多くの一般投資家など、株マーケットにいる過半の人が読んでいるもの、つまりは『日本経済新聞（日経新聞）』ということになります。

あまりにも当たり前すぎて、がっかりしましたか？ しかし、株式投資では、**「皆が読んでいる当たり前の情報である」**

ということが重要です。なぜなら、マーケットは多数の人の思惑で動くもの。多くの人が買ったたり売ったりすることで、株式の値段（株価）も上がったたり下がったりします。だからこそ、多くの人が一つの情報によって一斉に動いてくれるほうが投資家としては都合がいいし、できるだけ多くの人が触れている情報を知っておけば、その思惑も回りやすくなります。株価が上がるのか、あるいは下がるのか、動かないのかは、「皆が知っているニュース」によって決まってくるのです。逆にいえば、

「情報ソースは、日経新聞だけで事足りる」

「日経新聞だけで、株式投資に勝てる」
とすら、言えるのです。

今の時代は、たいていのニュースをネットで見ることもできるので、

翌朝に配信される新聞の情報を、わざわざ読まんでもええんちゃう？